Vol.41

niceな人（ナイス ひと）見つけちゃいました！

今月のいいね

＼ びば（美場）：万歳（ばんざい） ／

笑顔のびば食堂

11月26日㈯ピュアプラザ 調理中の様子

みんなの食堂 －笑顔のびば食堂－

町内有志や高校生ボランティアなどが、※1NPO法人ワーカーズコープ協力のもと、大人も子どもも食事を楽しむ場所として、誰もが来られる食堂を、月1回、いずれかの土曜日に公民館などで開設しています。

■開設のきっかけなど

NPO法人ワーカーズコープ
苫小牧まちづくり地域福祉事業所
所長 堀川 紅美（くみ）さん

平成26年から、月に３回、町内の子どもたちを対象に行っている学習会（学習サポート）の中で、子どもたちから「みんなで一緒にご飯を食べて、お祭りみたいなイベイトをやれるといいよね」との発言をきっかけに、「子どもたちの交流拠点を作ろう」という地域の方たちの声もあり、町内で関心のある方や志のある方、高校生ボランティアの方などとともに、大人300円、子ども無料の「みんなの食堂 － 笑顔のびば食堂 －」を昨年９月に開設しました。新型コロナの影響により５か月間中止した期間もありましたが、今年５月に再開し、多いときには１日80人以上の方が訪れます。

■今後に向けて

多くの方が楽しんで食事をできる機会を通して、地域ボランティアのひとり一人が主体者となって力を発揮し、活躍できる場としていきたいです。

■ボランティアの方の紹介　※一部の方のみ紹介

水産会社経営　岡崎 勝義（かつよし）さん（静内御幸町）
海産物や野菜などの食材の無償提供のほか、調理などを担当
子どもの笑顔を見ると幸せになる。ただ、それだけです。

主　婦　山本 とめ子さん（静内緑町）
調理や配膳などを担当
小学生に「おいしかったよ、今度何つくるの、また行くよ」と道端で大きな声を掛けてもらい、とてもうれしかったです。子どもの喜んでいる姿が一番です。

主　婦　田中 朋子（ともこ）さん（静内緑町）
調理や配膳などを担当
教員をしていたころから「町内にこういう場所があるといいなぁ」とずっと思っていました。新聞の掲載記事を見て、参加させていただきました。

高校生　櫻井 正斗（まさと）さん（静内農業高校）※写真中央
三上 歩果（ほのか）さん（静内高校）　※写真左
中道 沙弥（さや）さん（静内高校）　※写真右
調理や子どもの遊び場でのサポートなどを担当
地域の人と関わりが持てるので、とても良い機会です。幼い子と遊び、逆に元気をもらっています。毎回楽しいです‼

【問合せ】NPO法人ワーカーズコープ 苫小牧まちづくり地域福祉事業所
☎0144 - 71 - 3611

11月26日㈯の献立

五目ごはん
具材たっぷり、味や彩り、栄養バランス満点のごはん。

しゃけ汁
岡崎さん提供の日高ブランドサケ銀聖（ぎんせい）を使用。

サケは骨抜きし、丁寧に調理。

※1～非営利の社会貢献の協同組合。まちづくり地域再生・生涯活動支援・学童保育・学童クラブ・保育園・高齢者障がい者福祉のほか、フードバンク事業などを行っています。